

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所が理念に込めた思いを通信などで周知すると共に、利用者が日々笑顔で暮らせるよう、理念を理解して頂くための工夫を期待します。	理念は玄関や食堂などに掲示しているが、面会時などにおいて、ご家族はほとんど気にされていないようなので、周知できるようにしていく。	パンフレットやライラックス通信など、目に触れる所に理念を記載する。より具体的な言葉で、わかりやすくするためにサブタイトルを検討する。	6ヶ月
2	6	身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束をしないケアに向けての対策・検討を期待します。	身体拘束廃止の研修は毎月のケア会議において、3か月に1度のペースで行っており、これからも続けていきたい。	運営推進会議に参加していただいている地域の方にも、身体拘束廃止委員会に参加していただき、身体拘束廃止のさらなる理解を深めていく。	6ヶ月
3	26	日誌の記載が介護計画に基づいた記録となり、更なる利用者の生活向上の改善に繋がるよう期待しています。	個人の日誌に介護計画をつけており、職員全員が理解できるようにしていく。	介護計画を日誌に記入し、誰が見てもわかりやすい日誌にする。	6ヶ月
4	35	災害はいつ起こるか予測できないことからあらゆる災害に対応できるように、職員間でシュミレーションを行い、更なる利用者の安全に繋がるよう期待します。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応マニュアルの災害項目別に、より具体的な対応状況を策定する。 ・施設内で一時的な災害対応ができるよう備品の準備や購入を行う。 ・災害時の備品の利用方法を職員全員が正しく理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルの再検討。 ・保存食や飲料水、灯油ストーブなどの備品の購入。 ・内部研修の中で備品の取り扱いについて職員へ周知・確認を行う。 	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。